

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【公表番号】特表2008-509904(P2008-509904A)

【公表日】平成20年4月3日 (2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2007-525450(P2007-525450)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/575 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

A 6 1 K 31/231 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/06 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/12 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 2 3 L 1/302 (2006.01)

A 2 3 L 1/307 (2006.01)

A 2 3 L 1/30 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/575

A 6 1 K 31/232

A 6 1 K 31/231

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 9/10 1 0 3

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 31/06

A 6 1 P 31/18

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	19/10	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	27/12	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	25/00	
A 2 3 L	1/302	
A 2 3 L	1/307	
A 2 3 L	1/30	B
A 2 3 L	1/30	A
A 2 3 L	1/30	Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年1月4日(2012.1.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィトステロール療法を必要とする対象における、循環親油性ビタミン類、親油性薬剤、親油性栄養素または任意の親油性医薬有効成分の少なくとも1つのバイオアベイラビリティおよび／または血中レベルを維持するための医薬組成物の調製における、魚油に溶解または分散したフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルおよび1, 3-ジグリセリドの混合物の使用であって、

前記フィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルはフィトステロールおよび／またはフィトスタノールの魚油脂肪酸エステルであり、前記1, 3-ジグリセリドは前記魚油に由来し、前記混合物中のフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルの量は20から99重量%である、使用。

【請求項2】

フィトステロール療法を必要とする対象における、循環親油性ビタミン類、親油性薬剤、親油性栄養素または任意の親油性医薬有効成分の少なくとも1つのバイオアベイラビリティおよび／または血漿濃度を増加させるための医薬組成物の調製における、魚油に溶解または分散したフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルおよび1, 3-ジグリセリドの混合物の使用であって、

前記フィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルはフィトステロールおよび／またはフィトスタノールの魚油脂肪酸エステルであり、前記1, 3-ジグリセリドは前記魚油に由来し、前記混合物中のフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルの量は20から99重量%である、使用。

【請求項3】

フィトステロール療法を必要とする前記対象は癌、良性前立腺肥大症、潰瘍、前立腺炎

、心臓血管障害（CVD）、冠状動脈性心疾患（CHD）、アテローム性動脈硬化症、肺結核、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）、ストレス誘発性免疫抑制、関節リウマチおよびアレルギー性鼻炎／副鼻腔炎からなる群から選択される状態を患う、請求項1または2に記載の使用。

【請求項4】

前記親油性ビタミンはカロテノイドおよびトコフェロールである、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用。

【請求項5】

前記カロテノイドはビタミンAである、請求項4に記載の使用。

【請求項6】

前記トコフェロールはビタミンEである、請求項4に記載の使用。

【請求項7】

前記親油性有効成分はフィトステロールである、請求項1～3のいずれか一項に記載の使用。

【請求項8】

前記フィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルおよび前記1，3-ジグリセリドの脂肪酸残基は、エイコサン酸、ドコサヘキサエン酸（DHA）およびエイコサペンタエン酸残基の少なくとも1つである、請求項1～7のいずれか一項に記載の使用。

【請求項9】

前記フィトステロールエステルはスチグマステロール、シトステロール、 β -シトステロール、ブラシカステロール、カンペステロールおよび／または5-アベナステロールの魚油脂肪酸エステルであり、前記フィトスタノールエステルは β -シトスタノール、カンペスタノールおよび／またはスチグマスタノールの魚油脂肪酸エステルである、請求項1～8のいずれか一項に記載の使用。

【請求項10】

前記混合物中のフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルとジアシルグリセロールとの間の重量比は15：1から1：1である、請求項1～9のいずれか一項に記載の使用。

【請求項11】

前記混合物は、前記魚油に溶解または分散した15重量%の1，3-ジグリセリドおよび25重量%のフィトステロールおよび／またはフィトスタノールエステルからなる、請求項1～10のいずれか一項に記載の使用。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0104

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0104】

PS-E+DAG-魚（調製物A）（オメガ-3-エステル混合物）群：

魚油脂肪酸（EPAおよびDHAを含む）にエステル化した1.7g／日大豆ステロール、ジグリセリドおよびトリグリセリドを含む魚油（市販の魚油、Pronova製造、Lysaker、Norway）に含まれる（総量＝9g／d）。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0106

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0106】

PS-E+DAG-オリーブ（調製物B）（PS-E+DAG）群：

オリーブ油脂肪酸（主にオレイン酸）にエステル化した1.7 g／日の大豆ステロール、ジグリセリド（DAG）およびトリグリセリドを含むオリーブ油（市販のエキストラバージンオリーブ油、Meshkek Eger製造、Yokeneam HaMoshava、Israel）に含まれる（総量＝9 g／d）。